

大間原子力発電所の無期限凍結を求める

意見書

函館市農業委員会

大間原子力発電所の無期限凍結を求める意見書

平成23年3月の福島第一原子力発電所の事故は、これまでの想定を超えた大惨事となり、原子力発電所の安全性が絶対ではないことを多くの国民が認識いたしました。

この事故による、地域住民が受けた被害は計り知れず、未だに事故原因の全てを究明できないまま、終息の見込みは全く立っておりません。

特に、農業においては、周辺地域で壊滅的な打撃を受けたのみならず、隣接県にも深刻な風評被害をもたらしております。

このような事故は、今後、二度と繰り返されてはならないものであり、安全確保のための万全の措置が講じられないままでの既存施設の再稼働も、決して認められないものであります。

このような中、昨年10月、函館市から津軽海峡を挟み最短でわずか23キロメートルしか離れていない大間町に、商業炉では世界初のMOX燃料による危険性の高い原子力発電所の建設が再開されました。

このまま大間原子力発電所が建設され、稼働した場合、わずかな人為的ミスによっても函館市をはじめとする地域の農業は、風評被害を含め大きな影響を受けることとなります。

函館市農業委員会は、道南地域における農業者の生活、農業の振興と安全で安心な農産物の供給を守るため、事故による農地汚染をはじめ、農産物の出荷停止や作付制限など、農業の崩壊を招くことが懸念される大間原子力発電所の建設に、断固として反対を表明するとともに、無期限の凍結を強く求めるものであります。

以上，農業委員会等に関する法律第6条第3項の規定により，
意見書を提出いたします。

平成25年5月27日
函館市農業委員会
会長 大槻寅男

(提出先) 経済産業大臣 茂木 敏充 様
衆議院議員 前田 一男 様
参議院議員 横山 信一 様
電源開発株式会社
取締役会長 沢部 清 様
取締役社長 北村 雅良 様
自由民主党北海道支部連合会
会長 伊東 良孝 様

(周知先) 農林水産大臣 林 芳正 様